

平成 26 年度 第 1 回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成 26 年 7 月 14 日 (月) 午前 10 時 00 分から 12 時 10 分まで

場 所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

出席した委員

古元 重和	千葉県健康福祉部保健医療担当部長
佐野 勇一	株式会社ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部長
鈴木 紀彰	国保直営総合病院君津中央病院長
高橋 功	九十九里町議会議員
高橋 功一	千葉県病院局副病院局長
中丸 悦子	東金市議会議員
樋口 幸一	公認会計士

(敬称略、五十音順)

欠席した委員

星野 恵美子	公益社団法人千葉県看護協会会長
水田 宗子	学校法人城西大学理事長
山本 修一	千葉大学医学部附属病院長

(敬称略、五十音順)

出席した関係者等

志賀 直温 東金市長
川島 伸也 九十九里町長

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平澤 博之 理事長
石原看護部長、原田事務部長、本吉参事、加養課長、鶴岡課長

評価委員会事務局

東金市企画政策部医療センター推進課 川代参事、加藤主査、三枝副主査

会議概要

1. 開会 (午前 10 時 00 分) 司会 川代参事
委員紹介
2. あいさつ 設立団体 志賀市長、川島町長
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平澤理事長
3. 正副委員長の選任 委員長 鈴木委員、副委員長 樋口委員 (委員互選)
4. 議 事

第 1 号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平成 25 事業年度の業務実績報告に対する意見聴取について

委員長

それでは、皆様のご協力をいただきまして議事を進めてまいります。本日の評価委員会におきましては、評価基準に基づき、第 1 号議案で「平成 25 事業年度の業務実績報告に対する意見聴取」、第 2 号議案で、意見聴取の方針に基づき「平成 25 年度財務諸表に対する意見聴取」を行います。また、第 3 号議案では、法人設立時の平成 22 年度から平成 25 年度までの第 1 期中期目標期間が終了しましたことから、同評価基準に基づき、「第 1 期中期目標に係る業務実績報告書に対する意見聴取」を行います。本日、委員の皆様からのご意見を踏まえ、7 月 30 日に開催を予定する第 2 回評価委員会において、評価結果の取りまとめを行う予定としております。それでは、第 1 号議案「平成 25 事業年度業務実績報告に対する意見聴取」を行います。審議に先立ちまして、「業務実績の評価方法」について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料 4「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績の評価方法」説明

委員長

第 1 号議案「平成 25 事業年度業務実績報告に対する意見聴取について」事務局から説明をお願いします。

独法事務局

別紙 1「平成 25 事業年度業務実績報告書」の説明

委員長

ただいまの説明に対し、ご質問、ご意見等があればお願いします。大項目ごとに 1 から 4 まで順次、検討していただきたいと存じます。大項目の 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置、この項目でご質問、ご討議お願いいたします。

委員

大項目の中の機器の整備についてですが、機械は日々進化するものですが、機器の整備については、何年で更新を考えておりますか。計画がありましたら、お聞かせをお願いします。

独法事務局

医療機器の整備につきましては、平成 25 年度に主たる医療機器、20 億円強の整備をいたしました。平成 26 年度から第 2 期中期計画の中で位置づけられておりますように、フルオープンを目指して平成 26 年度、3 億円、27 年度、3 億円、28 年度、4 億円の合計 10 億円を予定しております。機器の耐用が 5 年となっておりますので、最大限に活用して、費用を回収し、社会情勢に合わせて機器の買い替え等に柔軟に対応したいと考えております。

委員長

第 1 項目はよろしいでしょうか。それでは 2 番目の大項目業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置を取り上げたいと存じます。ご意見、ご質問をお願いいたします。この部分ではとくにございませんでしょうか。それでは 3 番目の大項目財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置を取り上げたいと存じます。ご意見、ご質問いかがでしょうか。

委員

財務内容の改善ということですが、まだ、病院が開院したばかりですが、理事長を中心とした病院の組織をうまく活用して、方針、方向性を説明していただければよろしいかと思えます。

理事長

病院では運営委員会を 2 週間に 1 回開いております。そこでは、私の他に看護部長、事務部長はじめ各

診療科の部長が集まりまして、一番大事なことをそこで検討して、すぐ現場にフィードバックして、できるだけ効率的な、また、住民の方たちのニーズにできるだけ添うような形で診療を行っていきたいということやっております。また、何か問題がありましたらそこで検討して、できるだけいい方向にもっていきたい、そういうシステムでやっております。

委員長

よろしいでしょうか。他にこの項目でございますか。それでは第4のその他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置について取り上げたいと存じます。ご質問、ご意見いかがでしょうか。

委員

医師の確保というところで、1点お伺いします。麻酔科の医師が確実に確保できていないと伺っておりますが、その辺のところをお聞かせ願いたいと思います。

理事長

麻酔科に関しましては、基本的には部長は特任教授として千葉大学の教授会で選任していただくことになっているのですが、確かに麻酔科の教授につきましては、まだ、着任していただいております。でも、麻酔をかけないと救急医療は成り立ちませんので、現在のところは、業者を介して来ていただいたりですとか、千葉大からは毎週月曜日に来ていただいております。それから、この18日に初めての心臓の手術を行うのですが、それに関しては、女子医大の麻酔を専門としている教授に来ていただくことになっております。それから救命救急センターの緊急の手術が多い訳ですが、麻酔科でなくても他の科の医師で資格をもっている者もおりますので、お互いに融通しあって麻酔をかけております。確かに麻酔専従の医師が常勤としている訳ではございませんが、麻酔全般の業務に関して、心臓麻酔の常勤の医師がいないからといって外の施設に送ったというようなことはオープンして3ヶ月ですが、幸い1回もございません。実質的には滞りなくいつているのですが、できるだけ早く、麻酔の常勤の医師をできれば千葉大から獲得したいと思っております。ただ、麻酔科の医師は全国的に少ない状況であり、千葉大学医学部附属病院の中でさえ、自分たちの麻酔科の先生だけではたりず、業者の紹介をいただいて、フリーランサーの麻酔科医が麻酔をかけている状況も聞いております。そういう中でなかなか難しいのですが、千葉大とも話しをしまして、千葉大学でだめならば他の大学もということで、都内の大学にアプローチしており、先週もある大学の麻酔科の教授に会っており、努力を重ねているところでございます。今年は残念なことに4月1日の時点で常勤の麻酔科医はおりませんでしたけれども、できれば今年の下半期とも思っているのですが、遅くとも来年の4月1日には麻酔科の常勤医をそろえたいということで、努力を重ねているところでございます。ただ、先ほど申し上げたとおり、麻酔の実務で障害がおきているわけではございません。

委員

ただいまの理事長の説明で、現在のところ支障はないというところでございますけれども、これは早急に努力をしていただき、確保をしていただきたいと思います。

委員長

他にいかがでしょうか。

委員

19ページの財政負担の原則のところの評価の仕方について、意見を申し上げたいのですけれども、施設及び設備整備に関する計画で96億2300万円に対して、実績が96億1800万円で500万円のマイナスであったということについて、3という自己評価をされておりますが、4でもいいのではないかと思っております。昨今の建築材料費の高騰、また、建築業界の人材不足により、全国的に費用を予算どおり納めきれない、工期を延長の事例が多い中、工期どおりに設備を整えたこと、予算内に費用を収めたことは評価しても良いの

ではないかと思えます。

委員

ただいまの委員の意見に賛成でございます。3 というのは自己評価で遠慮されている面があると思えますが、努力の跡を評価して4 ということでよいと思えます。

委員長

他の委員はこの点に関していかがでしょうか。(他の委員から異議なしの声) では、この部分につきましては、評価4ということにしたいと思えます。他にこの第4項目でいかがでしょうか。

委員

医師、看護師、コメディカルの採用のご意見、ご質問をさせていただきたいと思えます。私、第1次医療再生計画の時からこちらの病院については、お手伝いさせていただいたと思っておりますが、平成26年の4月の開院にあたりまして、医師が29名、看護師が130名とこれだけ集められたということについては、千葉県内、あるいは、山武長生夷隅圏内の不足の状況からすると、かなりご努力をされたのかなというふうに思っております。これについては、評価の仕方は色々あると思えますが、私の評価としてはもう少しあげてもいいのではないかという意見でございます。それから、質問させていただきますと、看護師確保につきましては、開院時に130名確保されたという状況でございますが、今後の看護師確保対策については、どのような施策を予定されているのか教えていただきたいと思います。

看護部長

今後の看護師確保ですが、現在、昨年に引き続き、千葉県内及び東京を中心とした就職説明会に参加して直接求人活動をしているということと、ホームページの充実により募集を促す、新聞の折り込み広告などをしております。また、県内の養成機関に対する訪問も従来どおり行っておりますことと、今までの実績も鑑みて、ご縁ができた県外の養成機関を訪問し、求人のご案内をするという活動しております。今年4月から開業しましたので、病院内を見させていただきながら説明会を開催しており、20名程参加がありました。応募状況は昨年に比べて出足が鈍いような感じはありますけれども、引き続き就職説明会、インターンシップも企画しておりますので、更に努力して参りたいと思えます。

委員

ありがとうございます。看護師確保対策で次の議題にありますけれども、貸借対照表に長期貸付金ということで、5700万円ということで、これは、奨学金を確保されていると思えますが、この貴重な予算措置が将来大学を卒業した後にこちらの病院に定着するように、日頃から策を講じられたらいいかなと思えます。それから、看護師確保を県内だけでなく、県外も視野に入れてやっていただいたら少しでも集まるのではないかと思えます。

看護部長

奨学金を支給している学生たちがいますが、東金市・九十九里町からある大学を限定した奨学金と、独法独自の奨学金がございます。学生が本当に就職してくれるのかという問題がございます。奨学金の貸付制度が始まった時点で、医療センター推進課の力も借りながら年に2回程度、ガイダンスを開催しております。以前は市役所に集まってお聞き、意見交換や勉強会をしております。今年の3月は病院で開催し、見学を含めて、理事長から病院が何を目指していくのかということをお学生に向けて話しをしていただきました。8月も学生を集めまして、新人の看護師の教育についての話をさせていただく予定です。そういう形で学生の心を離さないようにすることと、医療センターNEWSができましたら、メッセージとともに学生に郵送したり、クリスマスカードを送るという活動をとおして、学生の心を離さないようにしております。

委員

具体的な説明ありがとうございました。

委員長

それでは、先ほどの評価を上げるというお話しですが、皆さんご意見いかがでしょうか。

委員

私、先ほど麻酔科の医師が確保できていないということを1点あげた訳ですけれども、他の医師、看護師の確保については良くできたのではないかと思います。1段階あげてもよろしいかなと思います。

委員長

他にご意見がないようでしたら4にあげるということでよろしいでしょうか。他にございますか。

委員

評価については、このままでいいのかなという項目ですが、3の地域に対する広報等についてでございます。私共は色々勉強させていただいておりましたので、フルオープンまでの診療科等存じ上げておりましたが、広報等を拝見しておりまして、住民の皆様にはわかりにくいところがあったのかなという印象がありました。今後の課題、要望ということで意見を言わせていただきたいと思いますけれども、単年度のホームページのアクセス件数もこれが妥当なのかわかりませんが、やはり広報は非常に重要だと思いますし、住民の皆様にも見ていただく情報は広報とホームページが中心になると思いますので、わかりやすい情報提供をお願いいたします。

委員長

他にいかがでしょうか。大項目4に限らず、1から4までで何かございましたらお願いします。

委員

評価についてでございます。先ほど委員からございました、建設費抑制の関係でございますが、行政でも課題になっております。資料の16ページの上、建築関連でございます。仕様変更などきっちり対応されて、工事を進められたということについては、同じ趣旨でございますけれども、評価4でもよろしいのではないのでしょうか。

委員長

同じ内容でございますので3-2-(1)のところも4でよろしいでしょうか。(委員より異議なしの声)他にいかがでしょうか。それでは、ただいま委員の皆様からいただきましたご意見を踏まえ、また、欠席の委員3名からのご意見を事務局で確認していただき、内容を整理のうえ、評価結果書(案)を作成することといたします。これは、30日までに仕上げ、皆さんにみていただくことになると存じます。それでは1号議案は終了ということにいたします。

第2号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平成25年度財務諸表に対する意見聴取について

委員長

次に、第2号議案「平成25年度財務諸表に対する意見聴取」についての審議を行います。

審議に先立ちまして、意見聴取の方針について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料5「財務諸表に対する意見聴取の方針」の説明

委員長

それでは、第1号議案「平成25事業年度業務実績報告に対する意見聴取について」事務局から説明をお

願います。

独法事務局

別紙 2「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成 25 年度財務諸表」の説明

委員長

説明が終了いたしました。ご意見、ご質問をお願いいたします。

委員

今のご説明で 25 年度につきましては、特に問題ないと思います。将来の話してございますが、8 ページの注記事項のところでは法人が採用する会計基準の消費税等については 5%の税込み処理と本体のものと税金の部分に分けた税抜き処理がございまして、2 つの会計処理がございまして。今回、気になったのは、3 ページの貸借対照表の建設仮勘定のところ 115 億円は 4 月 1 日付けで会計処理されるのだと思いますが、この中で概算約 5 億円ぐらいの消費税が含まれており、これを資産に建物勘定や医療器械等に割り振るのかによって、損益状況が今後変わってくるといって、評価委員会でご意見を申し上げるというよりは、むしろ法人がどのような方針で考えていくのか内部で検討していただき、監事さんのご意見もお聞きしながら、今後、税込み方式にするのか、税抜き方式にするのかご検討いただければと思います。検討課題ということで意見を述べさせていただきます。事務局のほうで方針が明らかであるならばご説明をいただければと思います。

独法事務局

現在の考え方について説明いたします。この決算書の貸借対照表につきましては、税込み処理ということで 5%を含んだ建設仮勘定になっております。平成 26 年 4 月 1 日から監事の先生のお導きもございましたが、消費税につきましては、税抜き処理ということで事業を始めさせていただいております。なお、建設仮勘定につきましては、4 月 1 日付けで課税仕入れという形で本勘定に振替をさせていただいております。なお、税率につきましては、建設時の 5%の税率を適用しております。平成 26 年度の決算時に課税事業者の選択届を税務署に決算前に提出させていただいて、今後、決算ごとに消費税の申告ならびに納付を行っていく考えております。また、具体的な部分については、今後ご指導を賜りたいと思います。

委員

良く分かりました。税金関係につきましては、私の考えと一致しております。どうもありがとうございました。

委員長

他にいかがでしょうか。確かにこの消費税は医療のジャンルは非課税団体扱いということで、私共もこの 4 月にわずかなプラス改定ということで医療費が計算されておりますが、消費税分を入れますとマイナス 1.9%位になるのでしょうか、かなり欠損がそれだけで生じてしまうような流れになっておりますので、よろしく願います。他にいかがでしょうか。それでは、ただいまの委員のご意見をふまえて、議題の 1 と同様に欠席委員の方々のご意見を事務局で確認していただきまして、内容整理のうえ、意見書（案）の作成をすることといたします。

第 3 号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

第 1 期中期目標に係る業務実績報告に対する意見聴取について

委員長

次に、第 3 号議案「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター第 1 期中期目標に係る業務実績報告に対する意見聴取について」事務局より説明をお願いします。

独法事務局

資料3「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター第1期中期目標に係る業務実績報告書」の説明

委員長

説明が終了しましたので、ご意見、ご質問をお受けしたいのですが、大項目1は目標の設置期間ですので、これはよろしいかと思いますが、大項目2から6までの大項目ごとに進めていきたいと存じます。それでは第2の住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置につきましてご意見、ご質問いかがでしょうか。

委員

この度の色々つくるにあたりまして、千葉大学医学部医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを導入してのドクター配置ということで、日本で2番目というふうにお聞きしておりますが、このシステムを使つての結果ということ評価をあげてもよろしいのではないのでしょうか。

委員長

皆さんいかがでしょうか。

委員

私も委員のご意見と同じでございます。先ほどの資料1の業務実績報告の意見と同様、医師、看護師の確保の難しい状況のなかで、所定の目標に達したということで3ということで説明を受けましたが、ここまで確保することはかなりの困難があったと思いますので、評価を上げたほうがよろしいかと思います。

委員長

それでは、この人材確保の部分については、3から4に評価を上げることとします。他にいかがでしょうか。

委員

先ほどの部分は4ページの4の人材確保の部分ということでよろしいでしょうか。

委員長

ご指摘のとおりでございます。

委員

2ページの1メディカルセンターの医療機能につきましても、三次救急を行う救命救急センターの指定はもとより、地域の災害拠点病院並びにDMAT指定医療機関の指定まで開院時にそろっているという形まで整理していただいておりますので、評価4という形でいかがでしょうか。

委員長

この点につきましていかがでしょうか。(異議なしの声)平澤先生一つ伺いたいのですが、救急医療に1次から3次までという項目があがっておりますが、いわゆる北米型のERを考えていらっしゃるのでしょうか。

理事長

後で資料の7に出てくると思いますが、基本的には、私共、東千葉メディカルセンターの救急医療の関わり方は、三次はやりますということで、二次は輪番制に入ると共に、二次輪番では対応できないものは三次として受けますということで、この地域の初期救急に関しましては、基本的には医師会でやっていただいている夜間救急診療所がございまして、そちらのほうで処理していただくというシステムが成り立っている訳です。しかし、基本的な病院の方針として、そういうシステムではあるけれども、病院側へウォークインでいらした方に関しては、今のところ門前払いすることなく、診ますということで、救急部の医者だけではなく、外科系、内科系の医師が当番でみるというような形になっております。他の救命救急センターでは、1

次相当の方は受けず、他の医療機関へご案内や引き受けたとしても初診料の上乗せをしているということも聞いておりますが、私共は、地域住民の方たちの期待にできるだけ添うということもありまして、人数が相当多くなってきたら考えますが、今のところは来た方については、きっちり診ていくという形になるろうかと思えます。具体的な数字は、資料 7 の救急患者数をみていただきたいのですが、4 月に関しましては、救急車でいらした方が 153 名、ウォークインが 109 名、5 月は救急車が 221 名、ウォークインが 164 名、6 月は救急車が 186 名、ウォークインが 156 名、全体として、3 ヶ月で救急車が 560 名、ウォークインが 429 名という数になっております。

委員長

私共の地区もこちらと似たような形でありまして、3 次救急といいますがウォークインが結構いっぱいいらっしやいまして、開院当初はおそらく吸収できると思えますけれどもこういった現状と目標について、住民の皆様によくご説明をしながら、状況によって段々使い方を変えていただく、こういうことで私共も 1 次救急は主として無床の開業の先生方が運営していらっしゃる夜間急病診療所、それから 2 次は輪番病院がこの 30 年でかなり減りまして半分ぐらいになったと思えますけれども、そこでなんとかやっております。ただ、問題なのは私共の病院も勤めてくださる医師が専門志向で 3 次救急しかやりたくないという人間が 99%でありまして、そのあたりをどのように調整して行くのかがかなり大きな問題でありまして、議会の場でうちの近所の人をどうして診てくれなかったんだというご質問がございます。せっかく新しい病院でするのでそのあたりを良く説明しながら、現状に合わせた受診の方法を良くお考えになられ進めていくのが非常に重要になるかと思えます。それで委員のご提案のように 2 ページの第 2 項目の 2-1 メディカルセンターの医療機能に関して 4 がよろしいのではないかというご提案に対して皆さんいかがでしょうか。よろしいですか。

委員

私も 3 から 4 にあげることについては異論はございません。ただ、気になったのは地域医療の連携ということで各機関と意見交換等も行っているようでございます。この辺のところをお聞かせ願います。

理事長

意見交換という形ではないのですが、私共のメディカルセンターで各診療科がどういうことをやっているかということを含めまして、医師会の先生方、あるいは場合によっては地域の住民の方たちを呼んで、話しは前後いたしますが、メディカルセンターに 200 人位入る講堂を作りましたので、講堂で講演会を開いております。我々の各診療科でやっている内容、そして全体として我々の役目はこういうことだからそういうことを認識したうえでかかっていたきたいというようなことをやっておりますし、また、我々のメディカルセンターの講堂だけではなく、医師会のほうにも呼んでいただきまして、先週も 2 つ講演会をやっております。そういうことで地域の先生方とはできるだけ関係を蜜にして、病診連携というようなことをやっていきたいと、それから、紹介状をいただいたときもまず最初に、患者様をお引き受けしましたので詳細については、後からご報告いたしますが、患者さんが受診なされたことをとりあえずお知らせするというまず第 1 報を出すと、それから地域医療連携室が出しますので、それから実際に診療して下さった先生方が第 2 報として報告するという 2 段階で先生方に蜜に連絡をとるといようなシステムを構築しているところでございます。それが我々の逆紹介で患者様を引き受けていただかなければ我々のベッドが空かないということもありますし、地域の先生方が診ていらっしゃる患者様を我々が引き受けるということも大事な責務だと思っております。それでこの前医師会会員の先生方から先生のところができて、我々も安心して診療ができて、自分の手に負えなかったら、すぐ先生のところが引き取ってくれるから非常に助かっていますという我々にとってはありがたいお言葉をいただいております。

委員長

それでは第2の1の項目を3から4にすることといたします。大項目の中で他にいかがでしょうか。

委員

メディカルセンターの施設整備についても評価をあげていただきたいと思います。やはりハイブリッド手術室等、非常に最先端の機能もありますし、保育所もありますし、また、ドクターヘリヘリポートもあるということで、地域の方たちの安心度も大変高くお聞きしておりますので、この点はぜひ上げていただければと思います。この全体的にこの中の項目2、3についてもあげていただきたいと思います。

委員長

2と3についても評価を上げてはというご提案ですがいかがでしょうか。今後、地元の医師会の方が委員で参加されますので、5番はまた今後討議することにいたしまして、では、項目2のメディカルセンターの施設整備、項目3のメディカルセンターの設備整備、いずれにしても用地の取得から、運営上のこと、また、病院の本体、医療機器などについて、項目2と3も評価を3から4でよろしいでしょうか。（異議なしの声）では、第2項目では1から4までは評価4にすることといたしたいと存じます。

第2の項目はよろしいでしょうか。それでは第3の業務運営の改善及び効率化に関する事項の項目についてはご質問、ご意見ございますでしょうか。

委員

この件につきましては、まだ始まったばかりですので、このままでいいのではないかと思います。

委員長

システムなどは使ってみませんと評価が難しいとおもいますので、ではこの第3の大項目はこのままでよろしいでしょうか。それでは、第4の項目財務内容の改善に関する事項、ここはいかがでしょうか。

委員

2番は先ほどと同趣旨でございます。特に建築関連についての相当なご苦勞をなされたということだと思いますので2については4でよろしいのではないのでしょうか。

委員長

他の項目でご意見ございませんか。それでは準備状況といたしまして、第4項目は2の支出の適正化のところを4にさせていただくということでよろしいでしょうか。（異議なしの声）

それでは第5のその他業務運営に関する重要事項についていかがでしょうか。

委員

同じく2番につきましては先ほどと同趣旨でございますが、4でよろしいのではないのでしょうか。1番3番については特にご意見ございませんでしょうか。それでは2番の財政負担の原則のところを評価を4にしようというご意見ですが何かご意見ございますか。

委員

今の計画では128億5,400万円が実績では137億8,600万円とういことで目標にくらべるとこれはどうなのか気になったのですが、事務局のほうでお願いいたします。

独法事務局

中期計画に関しましては平成22年度の独法スタート時に128億5,400万円でスタートいたしました。ただ、この時には、建築物の主たる構造が耐震の設定でございまして、それから先ほどご説明いたしましたように災害拠点病院の指定を受けるということで免振構造に変えたという一つの要因がございます。それともう一つは時代の流れの中で必要な医療機器等の整備に若干不足が生じたということで、実態とすると、9億円を増額させていただき137億8,600万円で整備を進めてきたものでございます。

委員

ただいまの事務局の説明でわかりました。委員のご提案どおり 4 でいいと思います。

委員長

こういう計画というのは時間をかけて作成し、取り掛かるものですから、私共も医療機器の予算が足りなくて予算を途中で増していただいた覚えがございますので、誠に適切なご指摘だと思います。この項目については 4 に上げてよろしいでしょうか。では、第 5 の 2 財政負担の原則については 4 にあげていただきたいと存じます。皆さんのご意見を踏まえまして、欠席の委員の皆様の見解を確認していただき評価結果書を作成することといたします。最後にその他の地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成 26 年度年度計画及び東千葉メディカルセンターの運営状況についてご報告をお願いします。

独法事務局

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平成 26 年度年度計画及び東千葉メディカルセンターの運営状況について報告

委員長

この項目についてご意見、ご質問ございますか。

委員

ただいま東千葉メディカルセンターの運営状況について説明していただきましたが、結果として本当にこの病院ができて良かったということに尽きると思います。ただ、東金九十九里を除いた山武市、大網白里市等患者が大変来ているわけですけれども、この辺何とか東千葉メディカルセンターへの支援、応援をいただけるような体制を今後もとっていただけるようにと思います。

委員長

今の点について何かございますか。

市長

それでは構成団体の私共のほうからお話させていただきたいと思いますが、実は県の試案の中で、周辺自治体からの支援、特に救急に対する支援をいただけるというお話を当初からいただいて今日に至っているわけですが、これについては、新規の取り組みということもあり、なかなかすぐにご理解いただけるという状況ではないのが現状でございます。ただ、私共考えておりますのが、山武郡市でも救急の二次輪番制度で受け入れた病院に現在ですと 1 億円、広域行政組合で予算化をしております、構成市町のかかった人数割りで負担をいただいて、あらかじめ輪番の予定を組んだ病院に配分をする補助制度を持っております。これは他の地域でもやっておりますけれども現実的には 1 ヶ月前にスケジュールを組んだ病院にそのあらかじめ決めた額が配分されるということになっておりますが、現実には受けられなかったり、後方支援ということで、東千葉メディカルセンターで受けるような状況が段々増えてきておりますので、他の自治体に申し上げているのは、この救急の補助制度の見直しをかけることができれば今ある補助制度の中である一定の部分での支援というよりも、支えあうという意味のスキームができるだろうと思っております、本年度は実績を重ねていくということになるとは思いますけれども、是非、今後県のほうにも既に話は申し上げておりますのでそういった取り組みの中でまず山武郡市のご理解をいただき、提案を進めていければと思っております。

委員長

よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。私から一つ教えていただきたいのですが、紹介率、逆紹介率のページがございましたが、これを目標にされたということは DPC の病院群に申込みをされる予定なのでしょうか。

事務部長

DPCは準備病院にまず手を上げなければいけないことと、実績が2年間分は必要なので、準備が整い次第出していきたいと思っております。

委員長

ありがとうございました。この数年の医療費の改定ではDPC病院が他と区別されて優遇されておりますので準備が整い次第そこに入っていて、業務内容の優位性をそこで特化していただくということは重要なことだと思います。よろしく申し上げます。他にいかがでしょうか。

委員

市民代表ということで私も参加させていただいておりますので、4ページの職員の接遇向上ということでここにもうたわれておりますけれども、やはり市民の方の期待が本当に大きい病院でございます。先ほど平澤院長先生から救急については1次・2次・3次もやる、またウォークインの方もお引き受けいただくということでお伺いして、私共大変理解しております。ただ、色々な住民の方のご意見とか感想もお聞きする訳なんですけれども、その時々で病院の事情もあり、また、その科がなければ先生にみていただくことが出来ない訳ですので、いろいろな事情があってというのは理解しているつもりなんですけれども、患者さんは体の調子が悪い、メンタル的にも落ち込んでいるような状況の中で病院に伺うわけですので、やはり一言一言が気になるということですので、患者さんのお立場からみると何か違和感を感じるというお話を聞いております。皆さんご努力いただいているのはわかるんですけども期待が大きいということで丁寧なやさしい説明をぜひ心がけていただいて、対応していただきたいと思っております。本当に市民の期待が大きいだけに、1次・2次・3次やる病院といっても近くのホームドクターに行く感覚の病院とは違うだろうなというふうに理解はしているんですけども、やはり皆さんここで診療を受けたいという気持ちも強いですし、ホームドクターに伺うような患者の方がリピーターになってもやはり救急のほうに差し障るかなということも理解しておりますけれども、やさしい丁寧な説明をしていただいていると思っておりますけれどもより以上の向上を是非お願いしたいということを申し上げたいと思っております。

委員長

ご要望ということでよろしく申し上げます。他に何かございませんでしょうか。それではご質問、ご意見も終了とみなしまして、本日の予定案件はこれで終了いたしました。以上で平成26年度第1回評価委員会を閉会といたします。ご協力ありがとうございました。次回の評価委員会は今月の30日に開催の予定ですのでよろしくお願いいたします。